

(別紙3)

地球温暖化対策計画実施状況報告書の概要(公表用)

1 事業者の概要

法人名 代表者名	東京製螺工業株式会社 代表取締役 樋口 恵	市内の 主たる住所	相模原市中央区田名塩田1-17-5
主たる事業の内容	ボルト・ナット・リベット・小ねじ・木ネジ等 製造業		

2 計画期間

令和4年度 ~ 令和6年度

3 報告対象年度

令和5年度

4 報告対象年度における温室効果ガスの排出の状況

基準年度 排出量	52 t-CO ₂	報告対象年度 排出量	44 t-CO ₂
排出削減量	8 t-CO ₂	報告対象年度 排出削減率	15.4 %
(原単位を設定した場合)報告対象年度原単位排出量削減率			%

5 報告対象年度における温室効果ガスの排出の状況に関する説明

2023年3月から稼動した太陽光システムでの発電電力は4月940Kw5月1080Kwと月使用量の15%以上で自家消費し二酸化炭素排出削減効果が確認できた。7~9月は夏場のエアコン等の消費が増え自家消費率は7~8%にとどまった、さらに12月~の増設工事の不具合の原因究明と復旧に時間がかかり12月~4月までは3~6%と低下した。それでもR4年度に比べ104.5千KWh使用電力量(CO₂換算 9t)を減らせた。【別紙1】復旧後の5月は28%6月23%と増設効果が確認できた。【添付資料参照】なので本稼働した太陽光発電の効果で令和6年度までの削減目標13t-CO₂は十分達成できる。更に5年度追加したNC旋盤を省エネモーターを搭載の機種に更新したので0.5tの削減も加算される。

6 温室効果ガスの排出の抑制等を図るために実施した措置の内容

措置の内容
工場屋根上に増設設置太陽光発電設備 13.08kW 自家消費型 による電力量の削減
工場建屋内に増設設置蓄電池システム 10kW 1台 による余剰電力の活用
省エネモーター搭載のNC旋盤への更新
社用車1台を電気自動車に切り替えた

7 その他地球温暖化対策の推進に寄与する取組等

R5年度の太陽光パネル13.08kW,蓄電池10kWを増設し自家消費をすることで、必要電力量の30%程をまかなうことができ、温室効果ガスの排出の抑制等に寄与できた。更に蓄電池の増設で非常時の電源確保時間を6時間から18時間に延ばした。尚、蓄電池でためた電力を使用ピーク時に活用することで、ピーク電力を下げる効果(令和4年度月平均ピークデマンド53KWから49kW)の確認も取れ、夏、冬の電力ひっ迫時の節電に寄与できた。

計画最終年度予定していた増設工事業業は変更し、R4.5年度に実施した太陽光発電のCO₂削減効果の検証と分析に取り組み、R7年度以降に新たに、再生エネルギーの利用と合わせ既存の設備を省エネ、ゼロエミッション設備への更新計画を策定する。

社用車を1台は電気自動車に買い替えた。今後フォークリフトのバッテリー仕様への買い替えを計画、SGDs経営に向けた取り組みを強化する。